

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ウルヴァリン・ストライク	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.540	ΔRG 0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ウルヴァリン・ストライク

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

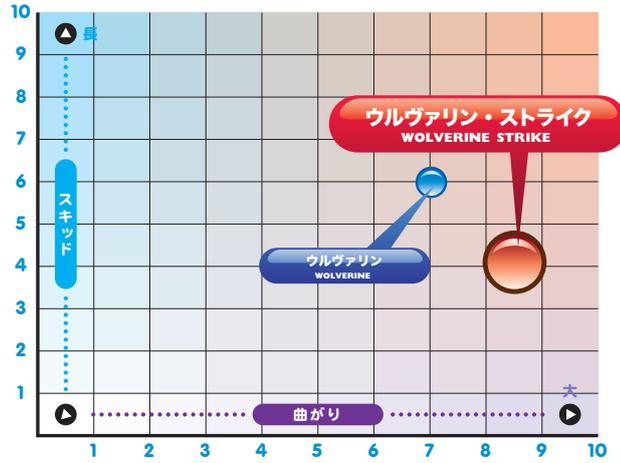
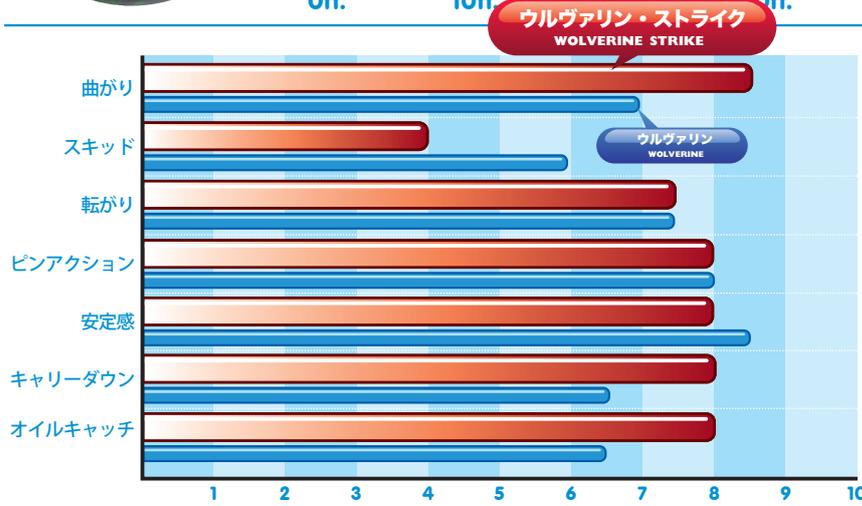
PAPからピンとの距離 **4** インチ

比較対照ボール：ウルヴァリン

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ



ボールの評価

WOLVERINEは中盤から後半にかけてオーバーアクションを抑えて「ボールをコントロール」する目的で開発されました。その開発コンセプト通り、WOLVERINEを使う多くのボウラーがボールのリアクションが激しくなってきたときにボールの動きを「収める」ために使用する頻度が高いようです。今回発売するWOLVERINE STRIKEはWOLVERINEで搭載したS70 PearlカバーストックからS70 Solidカバーストックに変更して、表面を#4000アブラロン加工に仕上げてあります。ポリッシュ仕上げでは少し滑ってしまう、もしくは大きく動かなくても良いのでブレーキングするイメージのボールが欲しいと思われる方、回転数が多くピンヒットまでボールコントロールしたい方にはベンチマーク的な位置付けで使用して頂けると思います。

私が感じるWOLVERINE STRIKEの売りは、強過ぎないSolid素材のカバーと中慣性と高いΔRGのコアとのマッチングだと思えます。カバーストックはボールのリアクションに多大な影響を及ぼしますが、時にPearlでもなくHybridでもないSolid素材で、しかも弱めのSolid素材のボールがコンディション攻略の鍵になることがあります。各社Solid素材のボールはあれど強めのSolid素材のボールが多く、この手の素材のボールを探すと限られるのが現状です。オーバーアクションを避けるために使用、または全体的にコントロール重視でベンチマーク的な役割として使用する、その双方を担うボールの選択肢にWOLVERINE STRIKEが加わります。ツーハンドボウラーのメインボールとしても候補に挙がるのではないかと思います。ミディアム以下で中盤から後半にかけてコンディションに攻める選択肢が少ない中、筆頭にあがるボールの発売ですので、このボールは見逃し厳禁です。

特記事項

ボールをコントロールしたい方やツーハンドボウラーにもぜひ使用して頂きたいボール。ポリッシュすることでスキッド力は上がり、使用できるコンディションも広がります。